

秋田駒ヶ岳の火山活動解説資料

仙 台 管 区 気 象 台
地 域 火 山 監 視 ・ 警 報 セ ン タ ー

＜噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）が継続＞
秋田駒ヶ岳では、本日（14 日）火山性地震が増加し、08 時から 16 時にかけて 225 回観測しました。
火山性微動は観測されず、地殻変動には変化はみられません。噴気等表面現象に異常はみられません。
地震回数の増加がみられましたので今後の火山活動の推移に注意してください。
また、女岳^{めだけ}の山頂付近では、噴気活動がみられますので注意してください。
噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・地震や微動の発生状況（図 1、2、3-②③）

秋田駒ヶ岳では、本日（14 日）火山性地震が増加し、08 時から 16 時までに 225 回（速報値）観測しました。震源は、男女岳^{おなめだけ}の北西約 1 km 付近の深さ約 1～3 km で、最大規模は 09 時 44 分の地震でマグニチュード¹⁾ 1.2（暫定値）でした。

秋田駒ヶ岳では、これまでも火山性地震が一時的に増加することがあり、2003 年 6 月 9 日の観測開始以降日別地震回数の最多は 2003 年 6 月 10 日の 75 回でしたが、今回は最多の地震回数となっています。

火山性微動は観測されていません。

・噴気など表面現象の状況（図 3-①）

東北地方整備局が設置している監視カメラによる観測では、本日（14 日）、女岳で 10m の高さの噴気を観測していますが、これまでと比較して特段の変化はみられません。

・地殻変動の状況

火山活動による変化は認められていません。

気象庁では、明日（15 日）火山機動観測班を現地に派遣し調査を行う予定です。

1) マグニチュード（M）は地震の規模を示します。資料中の値は暫定値で、後日変更することがあります。

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ（<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>）や、気象庁ホームページ（<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。

この資料は気象庁のほか、国土交通省東北地方整備局、国土地理院、東北大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータを利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50m メッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平 26 情使、第 578 号）。

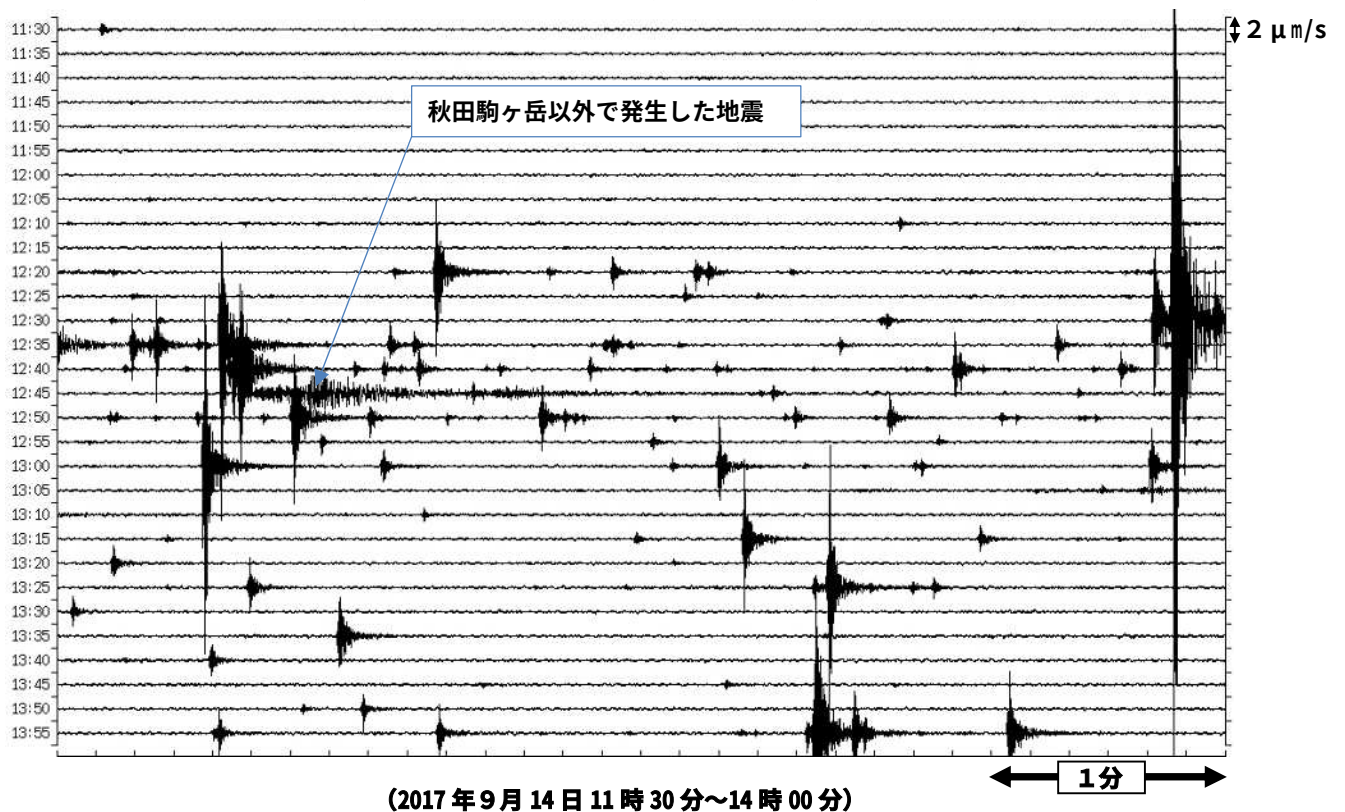
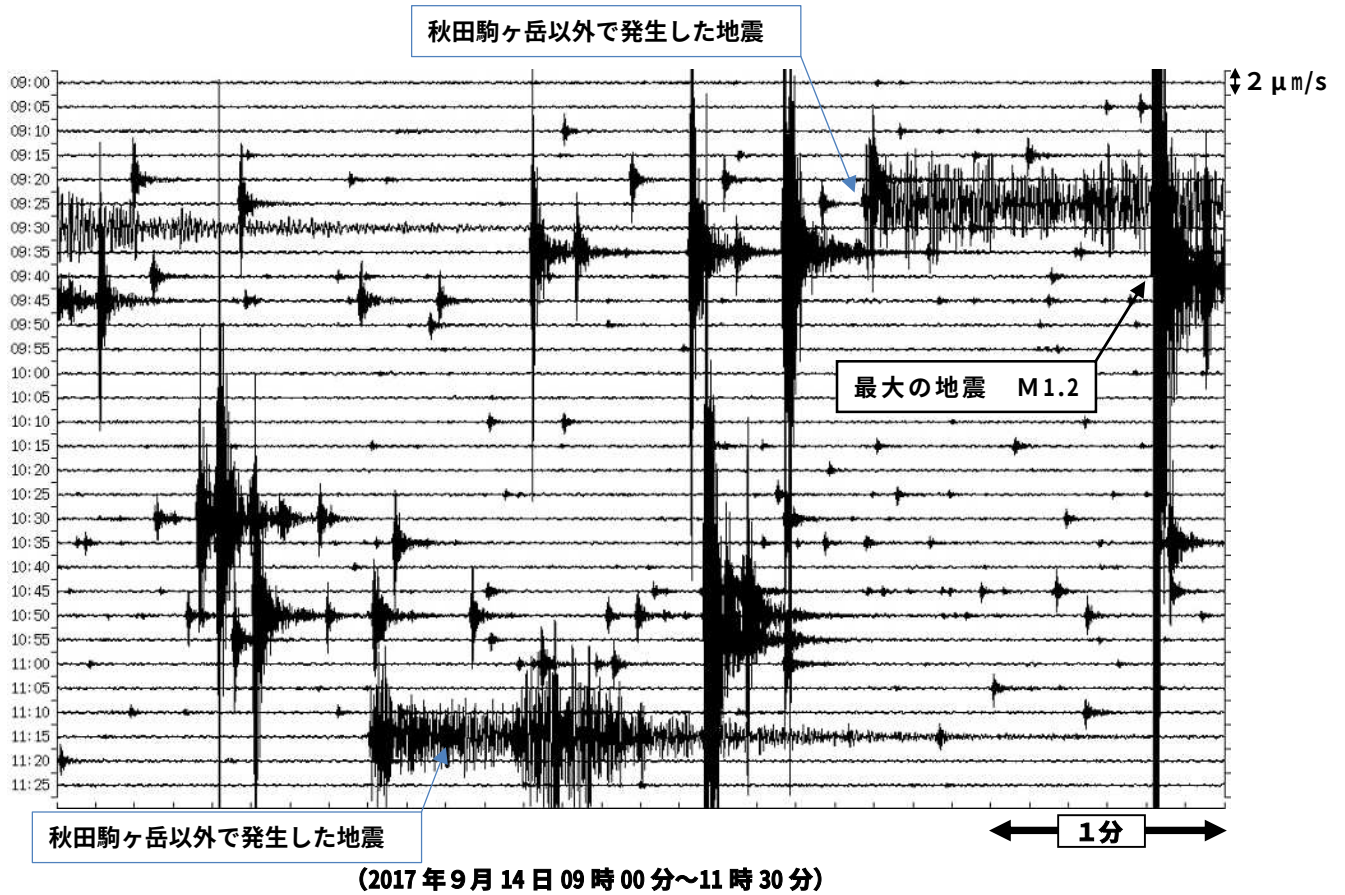


図1 秋田駒ヶ岳 地震の発生状況 (八合目駐車場観測点 上下動)

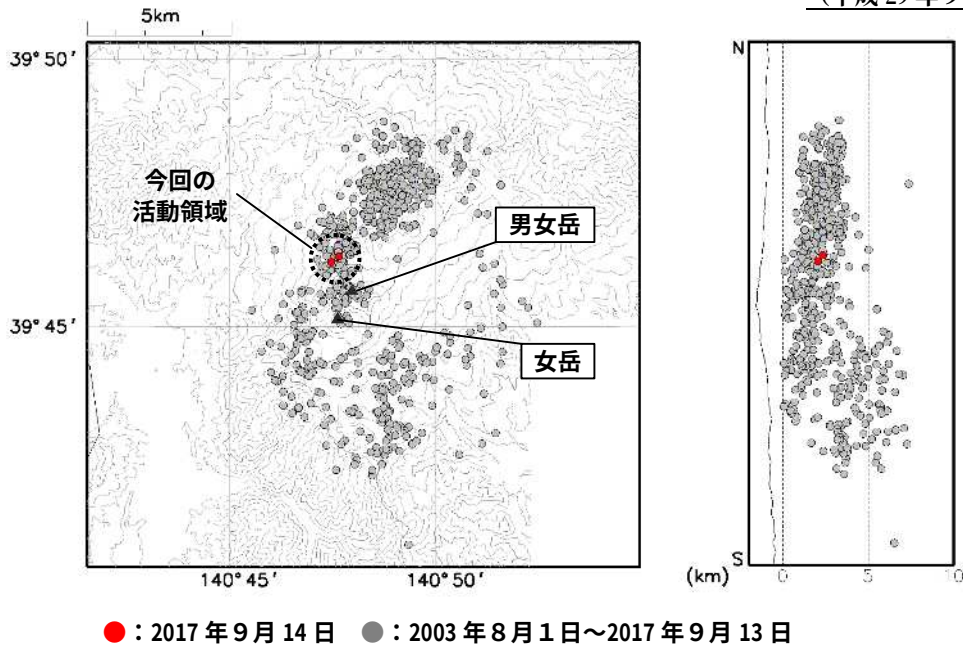


図2 秋田駒ヶ岳 地震活動 (2003 年 8 月 1 日～2017 年 9 月 14 日 12 時)

- ・今回、男女岳の北西約 1 km 付近で地震活動がみられました。
- ※ 9 月 14 日は規模の大きな主な地震のみ表示しています。

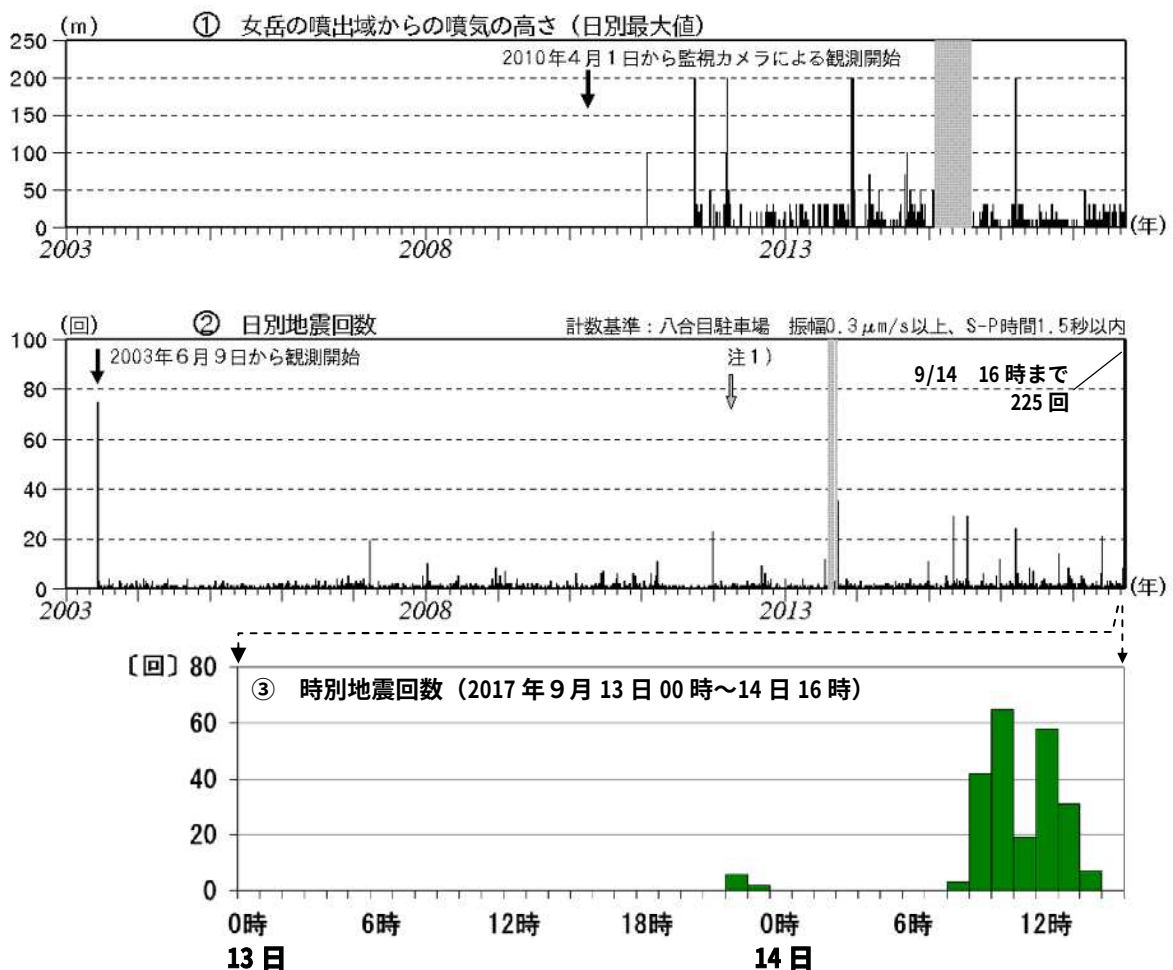


図3 秋田駒ヶ岳 火山活動経過図 (2003 年 6 月～2017 年 9 月 14 日 16 時)

- ・①仙岩峠 (女岳山頂の南約 5 km) に設置されている監視カメラ (東北地方整備局) による観測です。
- 注 1) 観測開始の 2003 年 6 月 9 日から東北大学秋田駒ヶ岳観測点を基準としていましたが、2012 年 4 月 1 日から八合目駐車場観測点を基準としています。
- ・①②の灰色部分は欠測を表しています。
- ・値は速報値を含んでおり、精査後修正する場合があります。

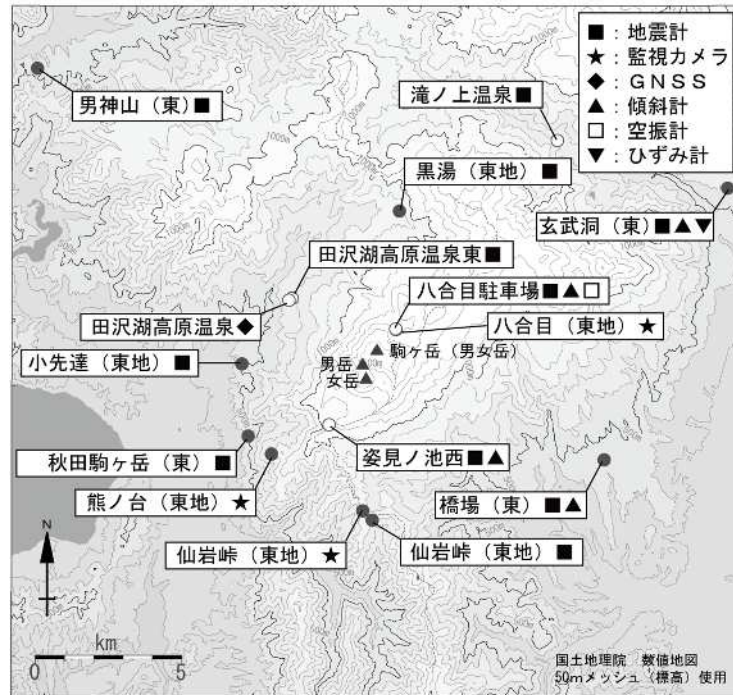


図 4 秋田駒ヶ岳 観測点配置図

小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点の位置を示しています。
(東)：東北大学 (東地)：東北地方整備局